

千葉市稻毛海浜公園自然観察会

浜辺の生き物を観察しよう

梅宮玲子（市原市）

日 時：2021年5月29日（日）10時から12時 天気：曇り

場 所：稲毛海浜公園（千葉市）

参加者：28名（大人16名、子ども12名）

担当指導員：田島 平田稚 梅宮 事務局 伊藤 管理事務所 2名

少し曇り空の中、いなげの浜で「浜辺のいきものを観察しよう！」の観察会を3班に分かれて開始しました。貝の専門家の清野さんも協力していただき大変助かりました。

最初に田島さんが参加者全員に強風で波が荒いので、保護者の方に 小さいお子さんが波にさらわれないよう気を付けること。貝やフジツボなどで指をきつたりしないように、また毒があつて危険な生き物のアカエイ・アクラゲに触れないよう等々、危険事項を周知しました。

浜辺では波が荒く、潮がなかなかひきませんでしたが、砂浜を掘るとアサリやシオフキがとれました。干潮時マテガイをとりに来る人が多いので塩で挑戦してみましたが、残念。もう少し干潮にならないと難しいみたい…夢中になって掘っていて、波をかぶり服が濡れて泣いてしまった子どももいました。

防潮堤の近くでは、岩の隙間にハサミに立派な毛をもつタカノケサソガニ、卵を抱えたメス！ 岩に沢山いるイボニシ・フナムシも捕まえてじっくり観察。波打ち際には、様々な海藻や、すべすべした水クラゲも打ち上げられていました。

強風を避けるため、松林の下でコンクリートを背に集合し、採取した生き物を分類しました。ツメタガイの砂茶碗、生きている貝、貝殻、カニやエビの甲殻類、様々な海藻。田島さんのクイズから、アサリが1時間で2リットルの海水を綺麗にしていたり、イソギンチャクがとても長生きするとか。フジツボは脱皮するなんて、どうやって脱皮するのでしょうか…

大人も子どもも みんな楽しんで、観察会に参加できたのはとても良かったと思います。稻毛の浜にこれからも様々な生き物が暮らしていけるように、身近な海をもっと大切にするにはどうしたらよいのか、課題ですね。



浜辺の生き物探し



海辺の生き物クイズ